

先生方からのメッセージ

5月1日(金)

担当	先生からのメッセージ
2年2組 担任	<p>「テレビの前のお友達。みんなあー。元気ー？」</p> <p>先日、11ヶ月になる息子と録画した某教育番組を見ていると、無観客でもいつもと変わらない、にこやかな笑顔で番組を進行するお兄さん、お姉さんがいました。</p> <p>「こんな時でもお茶の間に元気を届けている。いや、こんな時だからこそいつもと変わらない笑顔を送り続けているんだな。」と、ふと思いました。普段の学校での何気ない日常がどれほど充実していたのかと、思いませんか？</p> <p>さて、こんなに休みが続くと、「いつもどおりの生活って、どんなんだったっけ？」とリズムが崩れてしまっていないですか？</p> <p>感覚として夏休みや冬休みなら、「休みが終わるまでもう〇日しかない！」(宿題がまだ・・・)と思う人もいるでしょうが、今回ばかりは、「早く学校が始まって欲しい！」</p> <p>「学校でみんなと勉強や部活動がしたい！」と待ちわびている人が多いことでしょう。</p> <p>とは言ってもまだまだ油断ならない状況です。「3密」を避け、体調、生活リズムを整えて、学校で再開できる日を楽しみにしています！</p>
3年2組 担任	<p>気持ちのいい天気で、ハイキングにでも行きたくなる。でも、今は我慢。</p> <p>大好きなご飯屋さんに行って、いつものメニューをおなか一杯食べたい。でも、今は我慢。</p> <p>友人が結婚した。今すぐに駆けつけてお祝いしたい。でも、今は我慢。</p> <p>我慢続きの日々で、気が滅入りそうになっていた私。こんな記事を見つけた。</p> <p>『辛抱と我慢は違う。今は辛抱の時。人間って、我が強いから我慢がすごくしにくい。我慢しろって言われると、我が強いからすごくつらい。でも、辛抱はできる。“辛さを抱く”って書いて辛抱。つらさをぎゅっと抱きしめればいい。』</p> <p>この記事を読んで、なるほどなと思った。また、こんな記事も。</p> <p>『嫌なことを耐え忍ぶのが“我慢”。好きなことのために耐え忍ぶのが“辛抱”。我慢の中には不満がある、辛抱の中には希望がある、我慢はいずれ爆発する、辛抱はいずれ実る。我慢はしなくていい、辛抱しよう』</p> <p>“我慢”はネガティブな感情で、辛抱は“ポジティブ”な感情。明るい未来に向かって、今はもう少しの辛抱。</p>

読書のすすめ

担当	メッセージ（読書の良さ・お勧めの本など）
はやま学級担任	<p>中学生にぜひ読んでほしい物語やその作者が、国語の教科書にたくさん載っています。この機会に、ぜひ教科書の物語を読んで、2つ目のあなたの人生を辿ってみてください。古典作品にも、おもしろいものがたくさんあります。現代語訳で読んでみると、千年前の文章でも、現代の私たちと同じ人間が、確かにそこに生きていたことが分かります。たとえば2年生の『枕草子』は随筆ですが、現代にも通じる「あるある！」が詰まっています。</p> <p>かつて中学生だった保護者の皆さん、「春はあけぼの」から始まる『枕草子』、教科書に載っている以外の段を読んだことがありますか？「ないけれど、今から古文を読むのは骨が折れるなあ。」という場合は、酒井 順子の『枕草子 REMIX』をお勧めします。自覚たっぷりの意地悪、潔いほどの悪口、ミーハーで無邪気なモテ自慢…。教科書に載っている清少納言って、こんなこと言ってるの？とびっくりしながらも、生き生きとした明るい清少納言の文章を、分かりやすく意識していて、楽しい本です。</p>